

老人ホームでつくられた ダンス

×

1/24(土)

トークゲスト

濱口竜介
(映画監督)

はまぐちりゅうすけ

トークイベント

京都府舞鶴市で初演され、大阪公演でも大好評を博したダンス公演
「とつとつダンス Part.2 愛のレッスン」
が仙台に登場!!!
上演後に、豪華ゲストをお招きして、
トークイベントを行います。

1/25(日)

トークゲスト

鷺田清一
(哲学者)

わしだきよかず

一愛はひろくて、ふかくて、
むずかしい

とつとつダンス part.2

愛のレッスン 仙台公演

2015.1/24 [土] 14:00 / 25 [日] 14:00

会場 | せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
仙台市青葉区春日町2-1

振付・構成 | 砂連尾 理 出演 | 砂連尾理、岡田邦子、西川勝、伊達伸明 映像 | 久保田テツ

2015年1月24日(土)14:00 開演 / 25日(日)14:00 開演

★開場は開演の30分前、受付開始は60分前

主催 | 一般社団法人 torindo 共催 | せんだいメディアテーク、グレイスヴィルまいづる 助成 | 芸術文化振興基金 協賛 | LEOC

一未整理の過去と手さぐりの間に
点描でしか描けない現在がある。
それを描く音、とつとつ。

2010年3月に京都府舞鶴市で上演したダンス公演「とつとつダンス」(振付・砂連尾理)をきっかけに、舞鶴市内の特別養護老人ホーム「グレイスヴィルまいづる」で、ダンサーの砂連尾理と哲学者の西川勝による、「とつとつダンスワークショップ」が始まり、現在に至るまで、身体(動き)と言葉の交換を繰り返しながら、新たな気づきや考えを深める場を生み出してきました。今回5年の歳月を経て、「とつとつダンスワークショップ」を元にしたパフォーマンス「とつとつダンス part.2 愛のレッスン」の仙台公演が行われます。約1時間のパフォーマンスの後、ゲストを招いたトークイベントを行います。

感動の声、続出！

大阪公演の感想より

作品としての強度、完成度の高さもさることながら、攻撃的な音楽のチョイスといい、パフォーマーのエロスに溢れた素晴らしい佇まいといい、近年稀に見るといっていいぐらいに最高の舞台作品だった。(30代男性)

最初から泣きっぱなしでした。作品もそうでしたが「愛のレッスン」ってなんて素敵な言葉なんだろう。暖かくて切なくて、愛ってなんやろう。あー、言葉に出来ません。これが感じているということなんですか。愛のレッスンには、死ぬまで終わりが無いと思いました。(30代女性)

これまでに見たことのないダンスに戸惑いましたが、その戸惑いこそが「とつとつダンス 愛のレッスン」の要諦ではなかったかと。「戸惑い」を既に自分の中にある価値観や美意識で説明してしまわないこと。これが砂連尾理さんからのメッセージだと僕は思いました。(30代男性)

待つこと、じっくりした時間の密度の濃さを感じました。「よりそうとは？」と考えました。つまびかれる音がこんなに印象的に感じたのははじめてだったかもしれません。(女性)

個人的には、こういった類の公演が、メディアに採り上げられ、世に広まっていく過程で安易な感動物語の「見世物」と化してしまう危険性を孕むものだと思っていて、距離を保っていました。(中略)今回に関しては、物語としてそういった見世物的になっていなかったことや、砂連尾さんのパフォーマンスが岡田さんの世界と調和していたということもあって、安易な感動に結び付かない絶妙なバランスがあったように感じました。(男性)

動と静の不可思議なバランスの中にしばらくいたように思います。

「からだと言葉のあいだに、愛があるのかもしれない。」(60代女性)

★トークイベント ゲストプロフィール

1/24(土) | 濱口 竜介 (はまぐち・りゅうすけ)

1978年、神奈川県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院映像研究科の修士制作『PASSION』がサン・セバスチャン国際映画祭や東京フィルメックスに出品され高い評価を得る。その後も日韓共同製作『THE DEPTHS』(2010)、東日本大震災の被災者へのインタビューから成る映画『なみのおと』『なみのこえ』、東北地方の民話の記録『うたうひと』(2011-2013/共同監督:酒井耕)、4時間を越える長編『親密さ』(2012)を監督。砂連尾理を劇中ダンス振付に迎えた中編『不気味なものに肌に触れる』など精力的に新作を発表し続けている。現在は神戸に拠点を移し、新作『BRIDES(仮)』を制作中。

1/25(日) | 鷲田 清一 (わした・きよかず)

哲学者、大谷大学教授、せんだいメディアテーク館長。1949年生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院修了。大阪大学総長を経て、せんだいメディアテーク館長。これまで哲学の視点から、身体、他者、言葉、教育、アート、ケアなどを論じるとともに、さまざまな社会・文化批評をおこなってきた。主な著書に、『「聴く」ことの力ー臨床哲学 試論』(阪急コミュニケーションズ、桑原武夫学芸賞)、『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫、サントリー学芸賞)、『「ぐずぐず」の理由』(角川選書、読売文学賞)など多数。

★access



□仙台市地下鉄南北線「勾当台公園」2番出口より徒歩6分
□JR「仙台駅」より徒歩20分、またはバス定禅寺通市役所前経由
交通局大学病院行き「メディアテーク前」下車

★公演の詳細はウェブ、Facebookにてご確認ください

HP: torindo.org FB: <https://www.facebook.com/series.totsutotsu>

【料金】全自由席 (とつとつダンスがよくわかるブックレット付き)

一般 前売3,000円/当日3,500円

18歳以下&70歳以上 前売2,000円/当日2,500円 ※5歳以下無料

*未就学児・乳幼児の方もご入場いただけます(要事前予約)。

小さなお子様はご同伴の方と同じ席(お膝の上)になります。

出入口に近いお席をお取りしますので、必ず事前予約の際にお伝えください。

【チケット取り扱い】問合せ先までお電話、メール、予約フォームのいずれかでご予約ください。

(チケットの支払・受取は当日会場受付にて行います。[当日精算])

※せんだいメディアテーク内KANEIRI Museum Shop6でも前売チケットお取扱っています。

【問合せ】 一般社団法人torindo 〒625-0036 京都府舞鶴市浜615 yashima art port
tel 080-2411-0790 mail torindoinfo@gmail.com